

マスコットキャラクター

『ふくまる』

2023年
8 月号

地域とあなたと私を結ぶ定期便

Vol. 68



発行元:公益財団法人復康会 社会復帰事業部

〒410-0811 沼津市中瀬町 17 番 11 号 TEL 055-931-0510 FAX 055-934-1697

ご挨拶

7 月より法人内異動により社会復帰事業部長として着任しました、澤野文彦と申します。よろしくお願い致します。公益財団法人復康会に就職してから約 30 年経過していますが、ほぼ医療機関の中で精神保健福祉士として勤務してきました。医療機関も地域社会の 1 つの資源であり、医療、福祉、介護、行政等とつながりながら一人の人の生活をどの様に考えていくかを実践してきたつもりです。

復康会では昭和 56 年のはまゆう寮運営に始まり、平成 5 年の共同住居カーサかぬき等、住居型支援を行ってきました。その後、社会復帰施設の運営を少しずつはじめ、平成 18 年の障害者自立支援法施行時に、新たな部門として社会復帰事業部を立ち上げ、今年で 17 年目を迎えています。事業所は大幅に増え、相談支援事業所 5 カ所（内地域活動支援センター併設 2 カ所）、就労継続支援 B 型事業所 3 カ所、共同生活援助 4 カ所となっています。「地域社会の中でその人らしい生活を送る」ために、相談機能や居やすい場所、住まい、就労訓練等でお手伝いできるよう、日々走り回っている社会復帰事業部を、私は病院から見ながら、時に一緒に支援し、教わる事だけでした。

当法人への期待としては精神科病院を 2 つ持つ法人であり、特に精神障害者の対応や支援に対するものと考えられます。もちろん、その期待には応えつつ、しかし、一人の生活者が自己実現をするためのお手伝いができるように、地域社会の中で課題を抱えて生活する人々を中心に置き、支援をしてきているつもりでもあり、今後もそのようにありたいと考えています。

と、言いつつも、私はまだ着任早々で、右往左往しているところです。私個人もそうですが、社会復帰事業部自体も利用者、地域社会、行政、法人内の皆さんに教わりながら、皆さんと共に成長できる組織運営をしていきたいと思います。

この先、様々な場面でお会いすると思います。その時にはよろしくお願い致します。



ゆめワーク



7月18日、数年ぶりに「納涼会」を開催。室内を提灯のイラストなどで飾り付けしてお祭りの雰囲気を演出。班ごとに分かれて「お好み焼き」「フランクフルト」「焼き鳥」などの屋台を出しました。人気 No.1 は手作りの「バナナチョコ」。プロジェクションマッピングによる「花火鑑賞」や「ヨーヨー釣り」などの遊戯コーナーも好評で、皆さん童心に帰って楽しむことができました。

(青木 大輔)



↑ 遊戯コーナーで「射的」や「輪投げ」に興じる参加者



ワークショップ まごころ

クオーレのジェラートが静岡県東部の情報を紹介するフリーペーパー『晴レルラ』に紹介されました。「暑い夏に食べたいひんやりスイーツ特集」の三島部門で紹介されました。いよいよ夏本番となり、より暑い時期が続きます。そんな時はクオーレのジェラートで涼を感じてみてはいかがでしょうか。コロナも5類となりイートインも再開しました。お近くにお越しの方はぜひお店でご賞味ください。

(上柳 光)



かのん

7月1日、沼津市は市政100周年を迎えました。かのんでは、沼津市からの依頼を受け、記念の缶バッジを作成しました。イベント等で配布するもの以外にも、沼津市役所内の「パイン」にて1個300円で販売しています。利用者・職員共に、100周年記念事業にこうして携わることができ、とても嬉しく思っています。人気商品で何度も増産していますので、皆さまも是非手に取ってみてください。

(杉山 智子)



コーポ狩野

7月19日に防災訓練を行いました。非常ベルを鳴らし、非常階段から避難。駐車場で点呼を行い、その後、水消火器を使用した消火訓練を行いました。久しぶりの消火訓練だった為か忘れていた人も多かったです。利用者からは「やって良かった」「自信が付いた」「定期的にやりたい」などの声が聞かれました。火災を起こさないことも大事ですが、いざという時に安全に避難、消火が出来るように今後も訓練を行っていきます。

(大嶽 哲也)



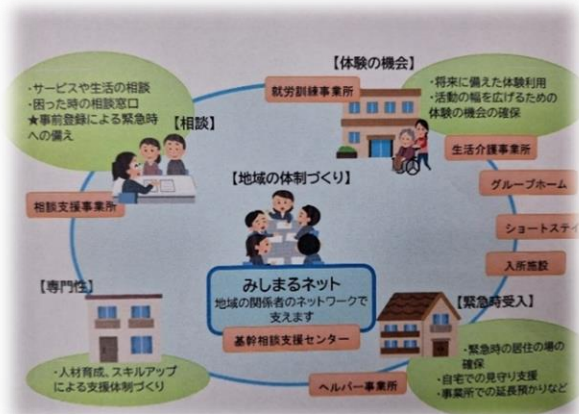
なかせ



7月10日、駿東田方圏域自立支援協議会地域移行部会が約3年ぶりに、構成員が参集して行う通常の形式で開催されました。構成員は圏域内の市町・医療機関・相談支援事業所担当者など約40名です。コロナ禍と言われるこの約3年間はウェブでの開催となっていました。部会の内容も勿論重要ですが、この会議形式の違いについて考える機会にもなりました。共通の事柄に取り組む人たちが一定数集まると、本題となるテーマだけでなくそれに付随する形でのプラスアルファの話が自然発生的に出てきます。一見本題から外れた無駄なもののように感じてしましますが、これがウェブにはない重要なポイントとなり他の事柄にも連動します。表面的には無駄と思われることにも大きな価値があることもあります。(鈴木 伸二)



ひまり



7月12日、市内の相談支援専門員、サービス管理責任者が集まり『みしまるネット(地域生活支援拠点等事業)ミーティング』が開催され、現在登録されている方の状況を共有したり、緊急時の受け入れに対する心配ごとや対応策などをグループワークで話し合いました。緊急時の対応として各事業所で工夫できることなどアイデアを出し合うことで、チームで支えていくことの大切さ、顔の見える関係(つながり)を築いていくことの大切さを、改めて共有することができたと感じました。(伊藤 田恵子)



りりぷ

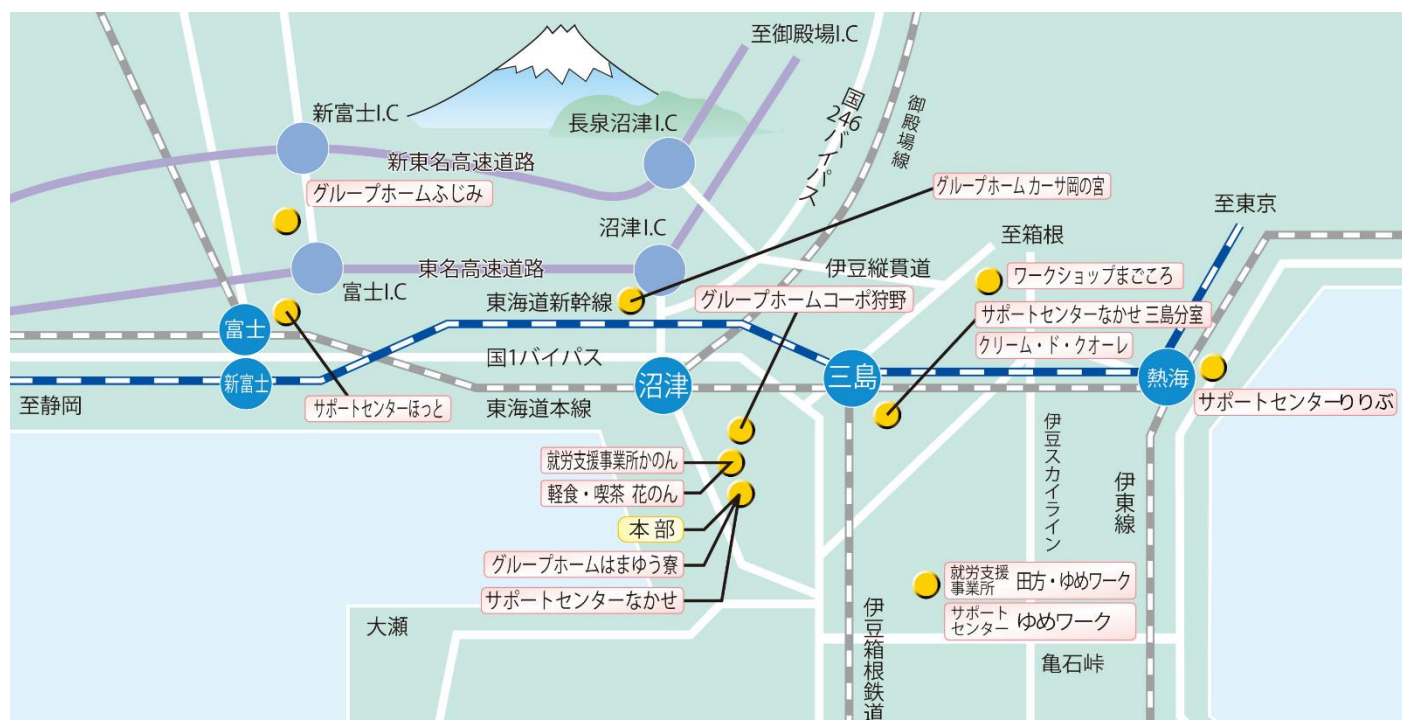
14日(金)、15日(土)に昨年購入したかき氷機を使い、今夏初めてのかき氷を作りました。連日蒸し暑い日が続き「そろそろかき氷かな?」と皆さんも思っていた様でした。今回は昨年に続いて二度目ということで、スタッフも準備がスムーズにでき、かき氷を削るメンバーさんも慣れた手付きで削っていました。粗く削ると少し氷が粒のようになり、細かく削ると氷がフワフワの食感になります。皆さんそれぞれ好みが違う様でご自身の好きな削り方で楽しんでいました。まだまだ続く暑い夏に、センターではこれからも何度かかき氷作りを行っていききたいと思います。(川口 楊子)



ほっと

6月28日、富士市障害者自立支援協議会では、地域の事業所に入職したばかりの新人向けの研修を開催しました。昨年に引き続き2回目の開催となりましたが、40名の参加がありました。内容は、自立支援協議会や障害福祉サービスの説明や障害の基礎知識についての話と、1グループ5名で仕事を始めて感じることを、考えることを話し合いました。参加者からは「知らないことを知ることができた」「同じ新人同士で話をするのができて、同じように頑張っている人がいると思って安心した」などの感想をいただきました。今後も研修に参加したいと前向きな意見もいただき、今年度中に新人向けのフォローアップ研修を行う予定です。(長谷川 真美)

社会復帰事業部施設MAP



サポートセンターなかせ 沼津市中瀬町17-11 TEL055-935-5680

サポートセンターりりぶ 熱海市田原本町9-1 熱海第一ビル2F TEL0557-82-5680

サポートセンターゆめワーク 伊豆の国市田京1259番地の294 TEL0558-75-5600

サポートセンターほっと 富士市日乃出町165-1 サンミック静岡ビル104 TEL0545-32-8160

サポートセンターひまり 三島市一番町7-19 高野ビル4F TEL055-991-1180

グループホームカーサ岡の宮 沼津市岡宮612番1号 TEL055-935-5680
(サポートセンターなかせ)

グループホームはまゆう寮 沼津市中瀬町17-11 TEL055-935-5680
(サポートセンターなかせ)

グループホームふじみ 富士市厚原1138-6 ムーンビームス TEL0545-32-8160
(サポートセンターほっと)

グループホームコーボ狩野 沼津市中瀬町24番1号 TEL055-933-1038

就労支援事業所かのかん 沼津市中瀬町19-20 TEL055-933-8500
(軽食・喫茶花のん) 沼津市中瀬町18-28 TEL055-933-8502

ワークショップまごころ 三島市宇エノ木4745-456 TEL055-985-2666
(クリーム・ド・クオーレ/作業所) 三島市一番町7-19高野ビル1F/2F TEL055-976-9000

就労支援事業所田方・ゆめワーク 伊豆の国市田京1259番地の294 TEL0558-75-5600

編集後記

梅雨も明け、じりじりした暑さとセミの声、そしてどこからか聞こえてくるシャガリの音に本格的な夏の訪れを感じます。各事業所でも夏らしい活動が行われているようです。熱中症に十分気を付けて満喫してください。

ふくむすび編集部